

かゝる故に今日を圍棋占福の日といへり、

〔玉山遺稿〕五少年行詩、代人

翩翩龍馬七香車、玉勒銀鞍日醉花、冷笑步兵非痛飲、黃金將盡不思家、

〔男重寶記〕三將基より出たる詞

一指手扣手 一倒馬に入 一王手づめにする 一將基だをしにこける 一玄やう事なくば  
端の歩をつけ

### 八道行成

牽道 併入

八道行成ハ、ヤサスカリト云フ、其法詳ナラズ、今ノ十六ムサシノ類ナルベシ、十六ムサシハ、  
又十六サスカリトモ云フ、其法十六ノ士卒、一力士ヲ中央ニ圍ミテ之ヲ攻ム、力士ハ八道ニ  
行キ、二子ノ間ヲ覘ヒ、直行シテ左右ヲ屠リ、遂ニ行道ニ障礙ナキニ至ルヲ以テ勝トシ、士卒  
ハ力士ヲ窮逐シテ、逃グルコト能ハザラシムルヲ以テ勝トス、ムサシノ一種、地上ニ大路小  
路ノ形ヲ畫キ、此ニ錢ヲ投ジテ輸贏ヲ争フモノアリ、又六ムサシアリ、碁子白黒各三ヲ以テ  
シ、九舍ヲ走リ、同士相連ナルヲ以テ勝トセリ、  
牽道ハ、ミチクラベト訓ズ、或ハ八道行成ノ類ナリト云ヒ、或ハ競走ノ義ナリトモ云ヒテ詳  
ナラズ、今姑ク此ニ併載ス、

名稱

〔倭名類聚抄四〕

八道行成

内典云、拍毬、擲石、投壺、牽道、八道行成、一切戲笑、悉不觀作、八道行成、讀夜、須賀利、

〔箋注倭名類聚抄二〕

按、宋雷空山易圖通變所謂八格戲、其局不過口中加十又之文者、蓋是、按、印

本下學集、八道訓、牟佐之、今俗所云十六牟佐之也、上總俗呼牟佐之爲佐須加利、武藏入間郡俗呼